

お花見の楽しみ方&マナー

3月末から4月にかけて、日本の至る所で桜が咲き始めます。四季の移ろいがある日本において、春の美しさは『桜』にあると言っても過言ではありません。この桜が最も美しい時期、宿泊のお客様の中にもお花見を予定されている方が多いと思います。お花見の楽しみ方とマナーを知っていただき、日本の文化であるお花見をお楽しみください。

①花見は日本の風物詩

可憐に咲き乱れるも、わずか 2 週間ほどで散るため、日本人の季節感を形成する重要な風物となっています。豪快に散っていく桜の運命を人の人生の儚さや、儚く散った恋心に例えられることも多く、日本古来より、桜を季語とした短歌や俳句などが沢山詠まれています。

《小倉百人一首より》
『花の色はうつりにけりないたづらに わが身世にふる眺めせしみに』小野小町



②花見弁当/花見団子/花見酒(飲酒可能か要確認)

お花見シーズンは、デパートや飲食店で様々なお花見弁当やお団子が販売されています。少し腰を下ろして、おいしい食べ物を堪能しながら桜をゆっくり鑑賞するのもお勧めです。

花見酒もお花見の楽しみ方のひとつではありますが、飲酒が禁止されている場所もありますので事前に確認してください。
また、飲み過ぎ・騒ぎ過ぎは花見の風情を台無しにしてしまいますので、十分ご注意ください。



③場所取りは最低限に

桜の木の下でのお花見はとても気持ちの良いものです。ただ、桜がきれいに見ることができる場所は限られています。みんなが気持ちよく花見を楽しめるように、必要な分だけの場所を確保しましょう。また、場所取りについてもその場所のルールに従って行ってください。



⑤用を足すときはトイレで

この時期は、たくさんの方が花見に集まります。そのため、公衆トイレや仮設トイレのある施設でもトイレ待ちの行列ができることがあります。トイレには早めに向かい、トイレ以外の場所で用を足すことがないようにしてください。

また、トイレトペーパーの持ち出しも厳禁です。必要な分だけ使用するようにしてください。



④桜の枝は引っ張らない

美しい桜と一緒に撮るお写真は日本の春そのものを映し出してくれます。ただ、お写真を撮るときに桜の枝を引っ張ったり、折ったりしてはいけません。木が傷つくことで、咲いている花だけではなく、蕾まで傷ついてしまい、今後咲かなくなってしまう恐れがあります。

春の風物詩を残していくためにも、桜の木は大事に扱ってください。



⑥ゴミは持ち帰りか分別を

食べ残しやゴミがあるだけで、せっかくの美しい桜の景観が損なわれてしまいます。ゴミは持ち帰るか、ゴミ集積場がある施設の場合は、しっかりと分別をして捨てましょう。



About Fujita Kanko Inc.

Fujita Kanko Inc. is a tourism industry corporation headquartered in Tokyo, with over 80 properties throughout Japan.
<https://fujita-kanko.com/>

